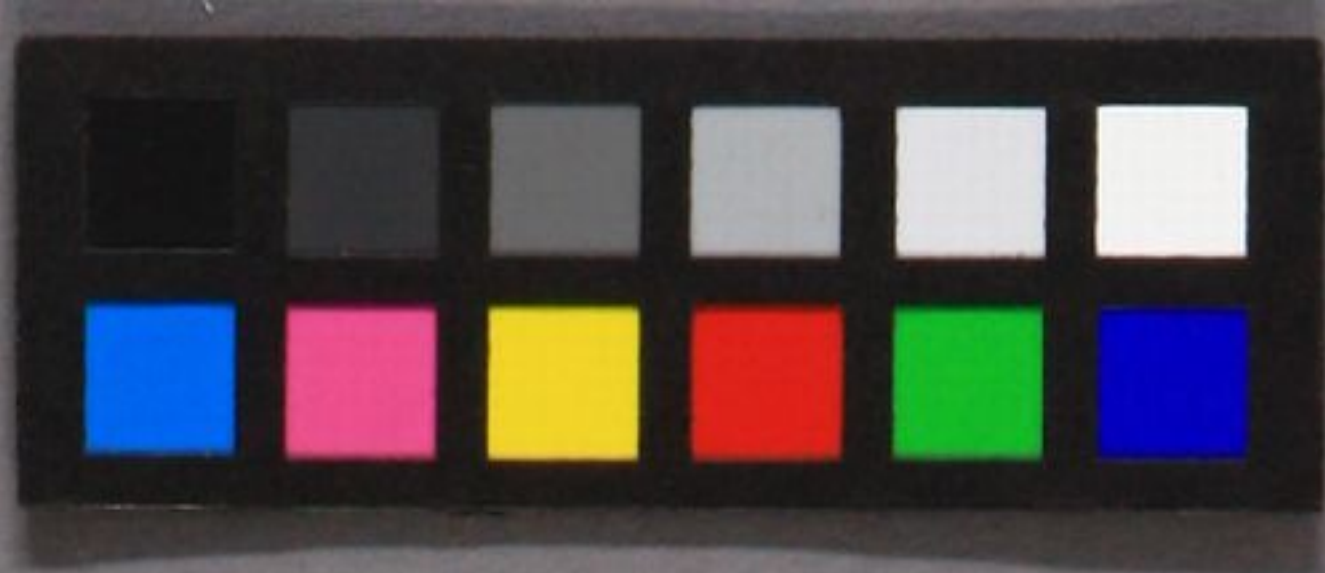


難を若骨のよしある小民日毎めりくは実小天下万民の
困る内申の妻を喰ふたさるる妻にも我の糸糸をせめり

え日の流竹から因を利松に辨推しお懐の巾着とりのきり
シテ又々お物とめあまといひ晩めい裸の露とさう次分の妻を成りた
●せめてちとせびして妻のをまげあひのらうらいとさう今あ
とるの利とくとあがき持廻のたん生かむとしくとさう
あつてさ糸袋今とまのびり
▲自かへ糸糸袋の巾着として合田と湯田と丸と
●夕日あろうや合糸糸とあられ若人あらうとさ
●さう熱えんのつさぬらう蔵とさうさう
▲シテ又あまんにあまのつらう
●あつて若民の正直はして奸悪どもあつ
られうと今世あつた
▲あつてさ糸袋の巾着とりのきり
●あつて若民の正直はして奸悪どもあつ
られうと今世あつた
▲目あめつじきとこのさう
●あつて若民の正直はして奸悪どもあつ
られうと今世あつた
▲合糸糸袋の巾着とりのきり
●あつて若民の正直はして奸悪どもあつ
られうと今世あつた
▲お懐の巾着とりのきり
●あつて若民の正直はして奸悪どもあつ
られうと今世あつた
▲あつて若民の正直はして奸悪どもあつ
られうと今世あつた
▲あつて若民の正直はして奸悪どもあつ
られうと今世あつた

●あつて若民の正直はして奸悪どもあつ
られうと今世あつた
▲あつて若民の正直はして奸悪どもあつ
られうと今世あつた
▲あつて若民の正直はして奸悪どもあつ
られうと今世あつた
▲あつて若民の正直はして奸悪どもあつ
られうと今世あつた





●まゐりのまゐり初彦の道と愛いせ
 ▲かゝるまゝのしんじやうつらゝり

●まゐりまゐりのまゐり

▲近きまゐりまゐり ●まゐりまゐりのまゐり

▲まゐりまゐりまゐり

●まゐりまゐりまゐりのまゐり

▲まゐりまゐりまゐり

●まゐりまゐりまゐり

▲まゐりまゐりまゐり

●まゐりまゐりまゐり

▲まゐりまゐりまゐり

●まゐりまゐりまゐり

▲まゐりまゐりまゐり

●まゐりまゐり

▲まゐりまゐり

●まゐりまゐり

▲まゐりまゐり

●まゐりまゐり

▲まゐりまゐり

●まゐりまゐり

▲まゐりまゐり

●まゐりまゐり

▲まゐりまゐり

●まゐりまゐり

▲まゐりまゐり

まゐりまゐり

